



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月2日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社フジミインコーポレーテッド

コード番号 5384 URL <https://www.fujimiinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史

問合せ先責任者 (役職名) 財務本部長 (氏名) 川島 敏裕 TEL 052-503-8181

四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	37,778	△16.4	6,109	△45.7	6,455	△44.2	4,797	△43.7
2023年3月期第3四半期	45,216	17.0	11,246	18.7	11,559	18.6	8,523	17.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,119百万円 (△34.1%) 2023年3月期第3四半期 9,280百万円 (15.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 64.67	円 銭 ー
2023年3月期第3四半期	円 銭 114.75	円 銭 ー

(注) 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年3月期第3四半期	百万円 78,883	百万円 69,595	% 88.2	円 銭 938.16
2023年3月期	百万円 80,101	百万円 69,011	% 86.2	円 銭 930.27

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 69,595百万円 2023年3月期 69,011百万円

(注) 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり純資産は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 ー	円 銭 110.00	円 銭 ー	円 銭 110.00	円 銭 220.00
2024年3月期	円 銭 ー	円 銭 36.67	円 銭 ー	円 銭 36.67	円 銭 36.67
2024年3月期（予想）	円 銭 ー	円 銭 36.67	円 銭 ー	円 銭 36.67	円 銭 73.34

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、2024年3月期及び2024年3月期（予想）の配当金については、株式分割後の金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2024年3月期の第2四半期末配当金は110円01銭、2024年3月期（予想）の第4四半期末配当金は110円01銭、合計220円02銭となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,500	△15.2	7,100	△46.4	7,650	△43.7	5,800	△45.3	78.18

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、2024年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、通期で234円55銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	80,098,500株	2023年3月期	80,098,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	5,915,121株	2023年3月期	5,914,392株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	74,183,494株	2023年3月期3Q	74,276,324株

（注）1. 2023年7月1日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

2. 当社は、業績連動型株式報酬制度 株式給付信託（BBT）及び株式給付信託（J-E SOP）を導入しており、当該信託に残存する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、世界的な景気後退と地政学リスクへの懸念が一層高まり、世界経済の不透明感は強まりました。インフレ率は鈍化傾向を見せながらも高水準で推移する中で、中国景気の減速感の強まりや緊迫する中東情勢も加わり、世界経済の下振れリスクが高まっております。

世界半導体市場は、AI向け半導体デバイスの需要が高まる一方、一昨年秋以降続いていたPCやスマートフォン市場の低迷に伴う半導体デバイスの生産及び在庫の調整は継続する等、各々の用途により方向感にバラつきが見られました。また、シリコンウェハールにおいては稼働調整が継続しております。

こうした状況下、半導体向け製品の販売が減少したことに加え原材料価格等の上昇の影響を受け、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高37,778百万円（前年同期比16.4%減）、営業利益6,109百万円（前年同期比45.7%減）、経常利益6,455百万円（前年同期比44.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,797百万円（前年同期比43.7%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

日本につきましては、主に最先端メモリデバイス向けCMP製品及びシリコンウェハール向け製品の販売が減少したことにより、売上高は21,511百万円（前年同期比22.1%減）、セグメント利益（営業利益）は売上減少に加え原材料価格等の上昇の影響を受け、5,457百万円（前年同期比45.0%減）となりました。

北米につきましては、CMP製品及びシリコンウェハール向け製品の販売が減少したことにより、売上高は5,265百万円（前年同期比13.7%減）、セグメント利益（営業利益）は232百万円（前年同期比72.9%減）となりました。

アジアにつきましては、CMP向け製品の販売は、主にマチュアロジックデバイス向け製品が減少したものの、先端ロジックデバイス向け製品は増加し前年並みとなりました。一方で、HDD（ハードディスクドライブ）及びシリコンウェハール向け製品の販売が減少したことにより、売上高は9,711百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益（営業利益）は2,355百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

欧州につきましては、CMP製品及びシリコンウェハール向け製品の販売が減少したことにより、売上高は1,290百万円（前年同期比13.0%減）、セグメント利益（営業利益）は87百万円（前年同期比39.8%減）となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハール向け製品につきましては、顧客の稼働調整が継続したことを受け、売上高はラッピング材では3,936百万円（前年同期比26.0%減）、ポリシング材では7,717百万円（前年同期比25.3%減）となりました。

CMP向け製品につきましては、上期のマチュアロジックデバイスやメモリでの稼働調整を受け、売上高は19,802百万円（前年同期比12.1%減）となりましたが、第3四半期売上高は、メモリでの在庫調整が進みつつあると見られ、前四半期比で3.9%増となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、顧客稼働の回復を受け、第3四半期売上高は前四半期比で105.6%増となりましたが、上期のHDD（ハードディスクドライブ）市場の生産及び在庫の調整を受け、売上高は911百万円（前年同期比17.3%減）となりました。

一般工業用研磨材につきましては、売上高は3,365百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、1,217百万円減少し、78,883百万円となりました。これは、有形固定資産のその他が1,949百万円、投資有価証券が687百万円、原材料及び貯蔵品が658百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が4,836百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、1,802百万円減少し、9,287百万円となりました。これは、買掛金が901百万円、賞与引当金が765百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、584百万円増加し、69,595百万円となりました。これは、利益剰余金が736百万円減少したものの、為替換算調整勘定が960百万円、その他有価証券評価差額金が342百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月2日に公表した予想値に変更はありません。今後、業績予想値の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,538	28,702
受取手形及び売掛金	11,246	11,282
有価証券	2,700	3,200
商品及び製品	5,820	5,585
仕掛品	1,451	1,433
原材料及び貯蔵品	6,329	6,987
その他	552	744
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	61,623	57,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,661	6,798
その他(純額)	8,165	10,115
有形固定資産合計	14,827	16,913
無形固定資産		
	241	188
投資その他の資産		
投資有価証券	2,282	2,970
繰延税金資産	987	753
その他	149	146
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,409	3,861
固定資産合計	18,478	20,962
資産合計	80,101	78,883

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,247	3,346
未払法人税等	891	264
賞与引当金	1,354	588
役員賞与引当金	—	58
その他	3,154	3,548
流動負債合計	9,648	7,807
固定負債		
繰延税金負債	3	4
退職給付に係る負債	925	928
株式給付引当金	191	188
その他	321	359
固定負債合計	1,441	1,480
負債合計	11,089	9,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,038	5,038
利益剰余金	60,310	59,574
自己株式	△4,414	△4,415
株主資本合計	65,688	64,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410	752
為替換算調整勘定	2,998	3,958
退職給付に係る調整累計額	△85	△65
その他の包括利益累計額合計	3,323	4,645
純資産合計	69,011	69,595
負債純資産合計	80,101	78,883

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	45,216	37,778
売上原価	23,824	21,571
売上総利益	21,392	16,206
販売費及び一般管理費	10,145	10,096
営業利益	11,246	6,109
営業外収益		
受取利息	65	149
受取配当金	46	74
為替差益	320	75
その他	73	64
営業外収益合計	506	362
営業外費用		
支払利息	5	4
固定資産除却損	4	7
投資有価証券評価損	42	—
投資事業組合運用損	137	3
その他	3	2
営業外費用合計	193	17
経常利益	11,559	6,455
特別損失		
システム障害対応費用	77	—
特別損失合計	77	—
税金等調整前四半期純利益	11,481	6,455
法人税、住民税及び事業税	2,602	1,569
法人税等調整額	355	88
法人税等合計	2,957	1,657
四半期純利益	8,523	4,797
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,523	4,797

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	8,523	4,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	342
為替換算調整勘定	759	960
退職給付に係る調整額	16	19
その他の包括利益合計	756	1,322
四半期包括利益	9,280	6,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,280	6,119



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	27,629	6,102	10,000	1,483	45,216	—	45,216
外部顧客への売上高	27,629	6,102	10,000	1,483	45,216	—	45,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,107	1,631	88	—	8,828	△8,828	—
計	34,737	7,734	10,089	1,483	54,044	△8,828	45,216
セグメント利益	9,925	858	2,507	145	13,436	△2,189	11,246

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,189百万円は、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,845百万円及び棚卸資産の調整額△351百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	21,511	5,265	9,711	1,290	37,778	—	37,778
外部顧客への売上高	21,511	5,265	9,711	1,290	37,778	—	37,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,485	997	148	—	7,631	△7,631	—
計	27,996	6,263	9,859	1,290	45,409	△7,631	37,778
セグメント利益	5,457	232	2,355	87	8,132	△2,022	6,109

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,022百万円は、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,915百万円及び棚卸資産の調整額△114百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。